



行動分析士資格認定協会® (BACB) : 行動分析士のための国際認定資格

ニール・マーチン博士 : 協会認定行動分析士® (BCBA-D), 国際開発部 部長
(翻訳 : 松田幸都枝 協会認定行動分析士® (BCBA))

行動分析士資格認定協会® (BACB) は、会員組織というよりも、独立した非営利団体です。米国のフロリダ州の“Florida Department of Children and Families”が実施していた資格認定プログラムに基づいて、1998年5月に設立されました。(1993、スターリン、ヘミングウェイ&ハートフィールド)
初回の行動分析士資格認定協会による試験は、フロリダ州資格試験を用いて2000年5月に実施されました。フロリダ州資格テストは段階を得て2004年に廃止され、行動分析士資格認定協会だけが、資格認定の母体として存在しています。行動分析士資格認定協会による資格認定プログラムは、厳格な品質管理基準を満たしており(2005、シュック)その証明として認定プログラムの認定のための国家委員会である優秀資格認定研究所(NCCA)により、2010年、NCCA規定プログラムとしても認定されました。

行動分析士資格認定協会のグローバルなミッションは、行動分析サービスをうける消費者の保護を、専門家の増加、その専門性の確立と普及とともに系統的に実施することです。

行動分析士資格認定協会のグローバルなビジョンは、資格を持つ行動分析士を世界中に増加させることによって、多種多様な社会的に重要な問題を解決することです。

行動分析士資格認定協会は、協会認定行動分析士資格を2レベルで発行しています。協会認定行動分析士® (BCBA) と、その下のレベルとなる協会認定準行動分析士 (BCaBA) です。

協会認定行動分析士 (BCBA®) は、より高いレベルの博士課程 (BCBA-D™) も、要件を満たすことで申請ができます。行動分析士資格認定協会は、さらに家庭教師レベルの資格である登録行動テクニシャン™ (RBT™) も発行しています。

協会認定行動分析士 (BCBA) / 協会認定準行動分析士 (BCaBA) の資格認定のための資格要件



協会認定行動分析士 (BCBA) または協会認定準行動分析士 (BCaBA) になるためには、行動分析士資格認定協会 (BACB) 試験に合格しなければなりません。試験資格を得るためには、学位とは別に、行動分析で要求されるカリキュラム課題 (コースワーク)、および最低時間数のスーパービジョンつき実地研究と実習経験 (field work and practicum experience) が必要です。

協会認定行動分析士 (BCBA) 試験資格の資格要件は、大学院またはそれに準ずる認定高等教育機関から、心理学、教育学、または行動分析学の修士号を持っている必要があります。また、大学院レベルで、BACB タスクリストと専門職の倫理基準を網羅するための 270 時間の行動分析で要求されるカリキュラム課題 (コースワーク) を修了していることも要件のひとつです (表 1 参照)。そして 1500 時間のスーパービジョンつき実地研究と実習経験 (field work and practicum experience) を実施、そのうち 5% (75 時間) を協会認定行動分析士 (BCBA) により直接指導を受け、完了しなければなりません。

この他に、あまり知られていませんが、協会認定行動分析士 (BCBA) 試験資格の資格要件を満たすための選択肢が二つあります。ひとつは、現在大学などで、行動分析の教鞭をとっている方のためのもので (大学教授・オプション)。申請者が一年間正式なフルタイム勤務の教授として大学で教鞭をとり、行動分析学の基本的な原則、倫理的問題、行動分析における研究および、シングルケースリサーチ手法などを指導し、行動分析に関わる研究を発表をしている場合に限り、カリキュラム課題 (コースワーク) は免除されます。

二つ目は博士号・BCBA レビュー・オプションと言って、カリキュラム課題 (コースワーク) と実習経験を実施することが難しい方がたに、利用可能な選択肢です。心理学、教育、または他の関連分野 (BACB の承認を前提とする) の博士号取得後、最低 10 年以上、行動分析家として仕事の経験を積まれている方が該当者となり、3 名の協会認定行動分析士 (BCBA) からの承認、申請者の履歴書 (Curriculum Vitae) による申請があれば、コースワークと実習経験は、免除されます。しかしながら、2016 年 1 月 1 日より新たな追加的な資格要件が発効されます。

2016 年 1 月 1 日以降、大学教授・オプションにはさらに資格要件が加わり、過去 5 年間の内、累積年数が 3 年以上、正式な認可のある大学などの高等教育機関において正式な教職員として任命されていることが要件となります。申請者は、行動分析に専念して指導をしており、大きくわけて 5 つの異なるトピックに



において（例：倫理、基礎原理、測定、実験デザインなど）行動分析学を教え、行動分析学の認定資格取得のために指定された課題リストの内容（行動の概念と原理、シングルサブジェクトリサーチの方法、応用行動分析、行動分析における倫理）のうち、2つ以上の課題内容を複数のコースで指導していることが要件になります。それぞれのコースは主に行動分析学を扱ったものであり、大学院レベルで教えられていなければなりません。授業の要件の証拠として、申請者の所属する学部の学部長からのサポートレター（支援の手紙）とコースのシラバスの提出が必要です。また申請者が、行動分析学の論文を少なくとも一本、査読された信頼度の高い学会誌等で発表していること、その際、実験的評価が含まれていること、申請者が第一著者、あるいは第二著者であることが新たな研究の必要条件とされています。

2016年1月1日より、博士号・BCBA レビューオプションは、ポスドク経験オプションとなります。申請者は、行動分析、心理、もしくは教育の分野において、正式な認可を受けた高等教育機関（大学院を持つ大学）から博士号を与えられていることが要件です。申請者は、最低10年以上、行動分析においてポスドク経験を保持していることが必要です。累積で10年以上の実績が求められ、州や国で認められた専門家としての実績が必要です。申請に必要な書類には、申請者の履歴書（Curriculum Vitae）、現在または過去の雇い主からの証明書、専門家としての証明書が含まれます。さらにこの場合、行動分析士資格認定協会（BACB）が認定した500時間の教育実習時間が求められ、その実習は10年間のポスドク経験の後で別に必要になります。

協会認定準行動分析士（BCaBA）試験資格の資格要件は、大学の学士を持っている必要があります。また180時間の行動分析で要求されるカリキュラム課題（コースワーク）を修了（表1参照）。そして1000時間のスーパービジョンつき実地研究と実習経験（field work and practicum experience）を実施、そのうち5%（50時間）を協会認定行動分析士（BCBA）により直接指導を受け完了しなければなりません。適切なスーパービジョン、適切なクライアントなどの詳細の記述に関しては、BACB のウェブサイト（www.bacb.com）をご参照ください。



	課題リスト (Content Areas)	BCBA 時間	BCaBA 時間
	倫理的専門的行為 (Ethical and Professional Conduct)	45	15
	行動分析の概念と原理 (Concepts and Principles of Behavior Analysis)	45	45
行動分析における研究手法 (Research Methods in Behavior Analysis)	測定 (分析を含む) (Measurement (including Data Analysis))	25	10
	実験デザイン (Experimental Design)	20	5
応用行動分析学 (Applied Behaviour Analysis)	問題の同定とアセスメント (Identification of the Problem and Assessment)	30	30
	行動改善の基本成分と特別な行動改善手続き (Fundamental Elements of Behaviour Change and Specific Behaviour Change Procedures)	45	45
	介入と行動変化についての考慮 (Intervention and Behaviour Change Considerations)	10	5
	行動改善システム (Behaviour Change Systems)	10	5
	実行、運営、スーパービジョン (Implementation, Management and Supervision)	10	5
	任意 (Discretionary)	30	15



合計	270	180
----	-----	-----

Table 1: BCBA and BCaBA coursework hours and content areas
(表 1: BCBA および BCaBA のコースワーク時間と課題リスト)

BCBA / BCaBA の協会資格認定試験

BCBA または BCaBA の資格を得るための適格基準を完了後、資格試験に合格する必要があります。試験自体は選択問題制で、150 問 (BCBA) または 132 問 (BCaBA) の質問に回答します。資格試験会場とその運営は、学界、雇用、金融、情報技術、法律、保険、さらには運転免許証発行のためのテストなど、さまざまな分野の範囲で資格認定や資格試験を管理する責任を負っている独立した組織であるピアソン VUE を介して実施されます。ピアソン VUE は、世界中の 400 カ国以上でコンピュータベースのテストサービスを提供しています。BCBA/BCaBA の試験を受験する場合には、年間 4 回 (2 月、5 月、8 月、11 月)、各月 (4 週間) の中で、日付、時間、場所を選べるようになっています。資格試験は、英語、スペイン語、イタリア語、ヘブライ語、中国語 (簡体体、BCaBA のみ) で受けることができ、現在もより多くの言語で受験できる準備を進めています。

受験を初めてする受験者のほうが、再受験者よりも、合格率が高くなっています。(全体の 3 分の 2 が、初回受験者、3 分の 1 が、再受験者) 2015 年 4 月の時点では、世界中の BCBA と BCaBA 資格保持者は合わせて 19,200 人で、世界中で飛躍的に成長している印象を受けます。(比較データの参照: 2011, マーティン&シュック)。

登録行動テクニシャン (RBT) の資格認定のための要件

RBT になるため、少なくとも高校卒業および同等の資格が必要になります。資格希望者は、40 時間の行動分析の基礎トレーニングを 90 日以内で、測定、評価、スキルの獲得、行動の減少、記録と報告、専門的な職業上の行為と



倫理規定、業務基準を網羅し、完了させる必要があります。受験資格を完了した際に、技量アセスメント (RBT Competency Assessment) を受ける必要があります。RTB のトレーニングと技量アセスメントの評価は、BCBA BCaBA によって実施されます。

資格更新制度/登録

BCBA と BCaBA は、取得後 2 年毎に、継続教育単位 (CEU) を取得して資格を更新、認定することができます。

BCBA は 32CEU、BCaBA は、24CEU を最小限取得しておく必要があります (1 継続教区単位 (CEU)=1 時間)。資格保持者は、所定の認定された研修の完了または実施、BACB 認可の継続教育単位発行の研修への参加、BACB やそのほかの論文発行機構での論文発表および校正作業の参加または完了を実施して、単位を取得することが必要です。もちろん、再試験を受けて合格して更新することもできます。BCaBA は、BCBA によってスーパービジョンを受け資格維持することも必要です。

RBT の資格更新は、毎年 RBT 技量アセスメント (RBT Competency Assessment) を BACB に提出する必要があります。RBT の登録維持のためには、BCBA または BCaBA によりスーパービジョンを受けなければなりません。

BACB の課題リスト (Task Lists)

行動分析士資格認定協会®第 4 版課題リストは、(BCBA と BCaBA いずれも)、BACB 試験の構成内容の概要となります。RBT の課題リストは、RBT 技量アセスメント (RBT Competency Assessment) が評価基準としての内容を提供しています。

課題リストは、指導内容が行動分析の分野において、最新の内容であることを保証するために、BACB によって定期的にジョブタスク分析 (Job task Analysis) を課題分析し、検討、見直しをされています。

ジョブタスク分析は、行動分析士または特定の専門家を招き、技術者の知識、スキルや能力などに渡り実施されます。BACB 有資格者はその結果を元に課題タス



クの認識された重要性において再検討を行います。行動分析の分野の中で、知識、スキル、能力の調査実施を行い、BACB ではなく行動分析の分野が課題リストにより位置づけされ決定されていることが強調されており、これが重要です。(2004、シュック、ジョンストン&メリキャンブ)

BACB の課題リストは BACB のウェブサイト (www.bacb.com) からダウンロードすることができます。

なぜ BACB 資格認定が必要なのか？

行動分析士または、行動テクニシャンとして働くものにとって、国際的な資格認定の利点は、主にそのクライアント・消費者の保護のためです。有資格者になることは、クライアント、消費者（例：保護者や他の専門家）と適切な訓練と経験を持っている専門家として、そうした経験値がない方々と区別をすることができます。この区分を尊重するためにも、そしてクライアント・消費者を混乱させないようにするためにも、BCBA（または BCaBA、RBT）訓練中または同等のものとして自分自身を紹介することは、禁じられています。もうひとつの利点は、行動分析士の実践者間の一貫性と、その質の確立、また移動の保証を含みます。BCBA（または BCaBA、RBT）資格が世界中で同じ有資格者である必要があります。ルーマニアを含む多くの国は、まだ応用行動分析学および行動分析士が、他の専門資格が必要とされる心理学、音声言語療法、法律、医学とは異なり、独立した専門職としての認識をされていません。

専門性の有資格者認定を受けることは、行動分析士としての定義とその活躍の場の提供をしていくためにも重要です。

臨床心理士が、臨床を実施するように、弁護士が、法律を扱うように、行動分析士が行動分析をおこなうというように、何を提供するかではなく誰が提供するのかという点で、有資格者という専門性が確立されていきます。

文献



- Institute for Credentialing Excellence (2010). Standard for Assessment-Based Certificate Programs, Washington DC: Author.
- Martin, N.T. & Shook, G.L. (2011). The Behavior Analyst Certification Board and International Credentialing for Behaviour Analysts. *European Journal of Behavior Analysis, 12*, 41–47.
- Shook, G. L. (2005). An examination of the integrity and future of Behavior Analyst Certification Board credentials. *Behavior Modification, 29*, 562–574.
- Shook, G. L., Johnston, J. M., & Mellichamp, F. (2004). Determining essential content for applied behaviour analyst practitioners. *The Behavior Analyst, 27*, 67–94.
- Starin, S., Hemingway, M., & Hartsfield, F. (1993). Credentialing Behavior analysts and the Florida behaviour analysis certification program. *The Behavior Analyst, 16*, 153–166.